

田岡俊次の

国際情勢の 行間を抉る

(10)



世界が驚嘆した日本外交の大成果 「平壌宣言」が潰れた理由

「米本土に届くぞ」を敢えて見せて交渉に臨む北朝鮮
Q・トランプ米大統領は当初は「外科手術的攻撃」などと言っていたが、5月1日のブルームバーグ通信のインタビューでは、金正恩委員長との会談につき「会えれば光榮だ」と語り、対話を求めています。なぜ変わったのでしょうか。

田岡・本誌の5月号、6月号でも述べましたが、米軍人は北朝鮮を攻撃すれば朝鮮戦争の再開となり、米軍にも、韓国、日本にも多大な損害が生じることを知っているから、極めて

その一方で、米国に届くICBMも造れる能力を北朝鮮が誇示する狙いは何か?また北朝鮮の核開発放棄を定めた「平壌宣言」はなぜ実行されなかつたのか。

「米本土に届くぞ」を敢えて見せて交渉に臨む北朝鮮
Q・トランプ米大統領は当初は「外科手術的攻撃」などと言っていたが、5月1日のブルーモバーグ通信のインタビューでは、金正恩委員長との会談につき「会えれば光榮だ」と語り、対話を求めています。なぜ変わったのでしょうか。

田岡・本誌の5月号、6月号でも述べましたが、米軍人は北朝鮮を攻撃すれば朝鮮戦争の再開となり、米軍にも、韓国、日本にも多大な損害が生じることを知っているから、極めて

慎重で、大統領に説明したのでしよう。5月19日に国防長官のJ・マティス海兵大将が記者会見で、北朝鮮の核・ミサイル問題につき、「軍事的解決に突き進めば、信じられない規模の悲劇的になるだろう。国連や中国、日本、韓国と協力して行く」と言っています。軍事的威圧は続けるが、戦争する気はないようです。

5月8、9両日にノルウェー・オスロで北朝鮮外務省の崔善姫アメリカ局長と、朝鮮半島問題に詳しいT・ピカリング元米国連大使が非公式に会談したが、米朝直接会談のための「瀕踏み」でしょう。崔女史は13日に平壌に戻ったが、その翌日に「火星12型」の発射実験が行なわれました。これは明らかに米国に見せられた。偵察衛星で撮影が容易な亀城(クソン)。平壌の北約120kmの飛行場にミサイルを引き出して発射している。高度2100km余りに達する異様に高い軌道で787km離れたロンア・ナホトカ沖に落とさせた。普通、もし通常の角度で発射すれば、「火星12型」の射程は5000km程度になるはずで、冷戦時代の米ソの戦略



5月14日北朝鮮は「火星12号」の発射実験を誇示

兵器制限交渉でのICBMの定義は、
5500 km（米国東岸から、当時の
ソ連領西端への距離）以上、でした。
米ソのICBMは30分余で目標に達し
えたから、「火星12型」が30分も飛
んだのは驚いた。しかも一段式のミ
サイルでの射程だから、2段、3段
式にすれば米国東岸、ワシントン
などにも充分に届くでしょう。

もし米朝の直接交渉が実現すれば、
北朝鮮は落としどころとして「米国
に届くICBMは造らない、核実験
も凍結する。代わりに米朝の国交樹
立、経済制裁の解除をしろ」と主張
する可能性があると考えます。これ
だと北朝鮮は現在持っている物は捨

たが、「火星13号」（全長約20m）
より小型（同15m）で1段式の「火
星12型」が30分も飛んだのだから、
北朝鮮がICBMを造る能力を持つた
ことは認めざるを得ません。14日に
発射実験は交渉カードの価値を高め
るためにあつたろう、と考えます。

トランプ大統領は防衛でも
「アメリカ・ファースト」か

Q 北朝鮮から米東海岸へは1万

1000 km、ハワイへは7000
km-ICBMさえ造らせなければ米
国に対する北朝鮮の脅威を除
去することに成功した」と、国内で
宣伝できます。北朝鮮がICBMを
造らないことを交渉のカードにする
には、「造ろうと思えば造れる」と
を示す必要がある。北朝鮮は20
機に載せたICBM「火星13型」を
登場させ、今年4月のパレードには
今回の「火星12型」も出たが、いず
れも発射実験をしていなかつたら、
「実物模型を出したのでは」と言わ
れて「開発途中」との評価が一般的
でした。

だが、「火星13号」（全長約20m）
より小型（同15m）で1段式の「火
星12型」が30分も飛んだのだから、
北朝鮮がICBMを造る能力を持つた
ことは認めざるを得ません。14日に
発射実験は交渉カードの価値を高め
るためにあつたろう、と考えます。

トランプ大統領は防衛でも
「アメリカ・ファースト」か

Q 北朝鮮から米東海岸へは1万

5月14日北朝鮮は「火星12号」の発射実験を誇示

トランプ氏は「ICBMを造らせな
けだから、核実験は不要です。一方、
本土は安全。「アメリカ・ファース
ト」のトランプ氏は成果を挙げた、
造らないことを交渉のカードにする
には、「造ろうと思えば造れる」と
田岡・そのとおりですが、日本が米
国に「北朝鮮を攻撃してくれ」とも
言えない。それをやれば朝鮮戦争の
再開で、マティス国防長官の言う「信
じ難い規模の悲劇」となります。航
空攻撃や巡航ミサイルで弾道ミサイ
ルを破壊しようにも、移動式のもの
は位置が分からぬ。一部を壊せて
も残るものを見出します。ソウル
から約40 kmの停戦ライン北側の巨大
な地下陣地には、300門以上の車
載ロケット砲（22連装）や長距離砲
が隠れ、ソウルが火の海になる公算
は高い。南北共に壊滅的打撃を受け
そうです。指揮中枢、通信系統を
叩くにも、要人の所在をリアルタイ
ムで掴む機会は乏しいし、通信手段
は当然複数。多様にしておるだろう
から、一撃に潰すのは困難でしょう。

戦争になり滅亡が迫れば北朝鮮は
「死なばもろとも」と、韓国、日

本の基地や大都市に向け核ミサイル

を発射する可能性が高い。もし日本

が米国との衝突覚悟でNPT（核不

拡散条約）から脱退し、核武装を

しても抑止は効かない。「抑止戦略」

は、相手の理性的判断を前提として

いて、自暴自棄の相手には通じません。

「自爆テロ犯は死刑に処す」と言つ

ても効果がないと同じです。ミサ

イル防衛も、核弾頭、火薬弾頭のも

のを混ぜて多数のミサイルをほぼ同

時に発射されると突破されます。

仮に日本に戦火が及ばなくて、も

風向きにより放射性降下物が降つて

来るし、放射性物質が残留し、経

済も壊滅状態になつた韓国から大量

のミサイルが飛来する。ソウル

から約40 kmの停戦ライン北側の巨大

な地下陣地には、300門以上の車

載ロケット砲（22連装）や長距離砲

が隠れ、ソウルが火の海になる公算

は高い。南北共に壊滅的打撃を受け

そうです。指揮中枢、通信系統を

叩くにも、要人の所在をリアルタイ

ムで掴む機会は乏しいし、通信手段

は当然複数。多様にしておるだろう

から、一撃に潰すのは困難でしょう。

戦争になり滅亡が迫れば北朝鮮は

「死なばもろとも」と、韓国、日

本の基地や大都市に向け核ミサイル

を発射する可能性が高い。もし日本

が米国との衝突覚悟でNPT（核不

拡散条約）から脱退し、核武装を

しても抑止は効かない。「抑止戦略」

は、相手の理性的判断を前提として

いて、自暴自棄の相手には通じません。

「自爆テロ犯は死刑に処す」と言つ

ても効果がないと同じです。ミサ

イル防衛も、核弾頭、火薬弾頭のも

のを混ぜて多数のミサイルをほぼ同

時に発射されると突破されます。

仮に日本に戦火が及ばなくて、も

風向きにより放射性降下物が降つて

来るし、放射性物質が残留し、経

済も壊滅状態になつた韓国から大量

のミサイルが飛来する。ソウル

から約40 kmの停戦ライン北側の巨大

な地下陣地には、300門以上の車

載ロケット砲（22連装）や長距離砲

が隠れ、ソウルが火の海になる公算

は高い。南北共に壊滅的打撃を受け

そうです。指揮中枢、通信系統を

叩くにも、要人の所在をリアルタイ

ムで掴む機会は乏しいし、通信手段

は当然複数。多様にしておるだろう

から、一撃に潰すのは困難でしょう。

戦争になり滅亡が迫れば北朝鮮は

「死なばもろとも」と、韓国、日

本の基地や大都市に向け核ミサイル

を発射する可能性が高い。もし日本

が米国との衝突覚悟でNPT（核不

拡散条約）から脱退し、核武装を

しても抑止は効かない。「抑止戦略」

は、相手の理性的判断を前提として

いて、自暴自棄の相手には通じません。

「自爆テロ犯は死刑に処す」と言つ

ても効果がないと同じです。ミサ

イル防衛も、核弾頭、火薬弾頭のも

のを混ぜて多数のミサイルをほぼ同

時に発射されると突破されます。

仮に日本に戦火が及ばなくて、も

風向きにより放射性降下物が降つて

来るし、放射性物質が残留し、経

済も壊滅状態になつた韓国から大量

のミサイルが飛来する。ソウル

から約40 kmの停戦ライン北側の巨大

な地下陣地には、300門以上の車

載ロケット砲（22連装）や長距離砲

が隠れ、ソウルが火の海になる公算

は高い。南北共に壊滅的打撃を受け

そうです。指揮中枢、通信系統を

叩くにも、要人の所在をリアルタイ

ムで掴む機会は乏しいし、通信手段

は当然複数。多様にしておるだろう

から、一撃に潰すのは困難でしょう。

戦争になり滅亡が迫れば北朝鮮は

「死なばもろとも」と、韓国、日

本の基地や大都市に向け核ミサイル

を発射する可能性が高い。もし日本

が米国との衝突覚悟でNPT（核不

拡散条約）から脱退し、核武装を

しても抑止は効かない。「抑止戦略」

は、相手の理性的判断を前提として

いて、自暴自棄の相手には通じません。

「自爆テロ犯は死刑に処す」と言つ

ても効果がないと同じです。ミサ

イル防衛も、核弾頭、火薬弾頭のも

のを混ぜて多数のミサイルをほぼ同

時に発射されると突破されます。

仮に日本に戦火が及ばなくて、も

風向きにより放射性降下物が降つて

来るし、放射性物質が残留し、経

済も壊滅状態になつた韓国から大量

のミサイルが飛来する。ソウル

から約40 kmの停戦ライン北側の巨大

な地下陣地には、300門以上の車

載ロケット砲（22連装）や長距離砲

が隠れ、ソウルが火の海になる公算

は高い。南北共に壊滅的打撃を受け

そうです。指揮中枢、通信系統を

叩くにも、要人の所在をリアルタイ

ムで掴む機会は乏しいし、通信手段

は当然複数。多様にしておるだろう

から、一撃に潰すのは困難でしょう。

戦争になり滅亡が迫れば北朝鮮は

「死なばもろとも」と、韓国、日

本の基地や大都市に向け核ミサイル

を発射する可能性が高い。もし日本

が米国との衝突覚悟でNPT（核不

拡散条約）から脱退し、核武装を

しても抑止は効かない。「抑止戦略」

は、相手の理性的判断を前提として

いて、自暴自棄の相手には通じません。

「自爆テロ犯は死刑に処す」と言つ

ても効果がないと同じです。ミサ

イル防衛も、核弾頭、火薬弾頭のも

のを混ぜて多数のミサイルをほぼ同

時に発射されると突破されます。

仮に日本に戦火が及ばなくて、も

風向きにより放射性降下物が降つて

来るし、放射性物質が残留し、経

済も壊滅状態になつた韓国から大量

のミサイルが飛来する。ソウル

から約40 kmの停戦ライン北側の巨大

な地下陣地には、300門以上の車

載ロケット砲（22連装）や長距離砲

が隠れ、ソウルが火の海になる公算

は高い。南北共に壊滅的打撃を受け

そうです。指揮中枢、通信系統を

叩くにも、要人の所在をリアルタイ

ムで掴む機会は乏しいし、通信手段

は当然複数。多様にしておるだろう

から、一撃に潰すのは困難でしょう。

戦争になり滅亡が迫れば北朝鮮は

「死なばもろとも」と、韓国、日

本の基地や大都市に向け核ミサイル

を発射する可能性が高い。もし日本

が米国との衝突覚悟でNPT（核不

拡散条約）から脱退し、核武装を

しても抑止は効かない。「抑止戦略」

は、相手の理性的判断を前提として

いて、自暴自棄の相手には通じません。

「自爆テロ犯は死刑に処す」と言つ

ても効果がないと同じです。ミサ

イル防衛も、核弾頭、火薬弾頭のも

のを混ぜて多数のミサイルをほぼ同

時に発射されると突破されます。

仮に日本に戦火が及ばなくて、も

風向きにより放射性降下物が降つて

来るし、放射性物質が残留し、経

済も壊滅状態になつた韓国から大量

のミサイルが飛来する。ソウル

から約40 kmの停戦ライン北側の巨大

な地下陣地には、300門以上の車

載ロケット砲（22連装）や長距離砲

が隠れ、ソウルが火の海になる公算

は高い。南北共に壊滅的打撃を受け

そうです。指揮中枢、通信系統を

叩くにも、要人の所在をリアルタイ

ムで掴む機会は乏しいし、通信手段

は当然複数。多様にしておるだろう

から、一撃に潰すのは困難でしょう。

戦争になり滅亡が迫れば北朝鮮は

「死なばもろとも」と、韓国、日

本の基地や大都市に向け核ミサイル

を発射する可能性が高い。もし日本

が米国との衝突覚悟でNPT（核不

拡散条約）から脱退し、核武装を

しても抑止は効かない。「抑止戦略」

は、相手の理性的判断を前提として

いて、自暴自棄の相手には通じません。

「自爆テロ犯は死刑に処す」と言つ

ても効果がないと同じです。ミサ

イル防衛も、核弾頭、火薬弾頭のも

のを混ぜて多数のミサイルをほぼ同

時に発射されると突破されます。

仮に日本に戦火が及ばなくて、も

風向きにより放射性降下物が降つて

来るし、放射性物質が残留し、経

済も壊滅状態になつた韓国から大量

のミサイルが飛来する。ソウル

から約40 kmの停戦ライン北側の巨大

な地下陣地には、300門以上の車

載ロケット砲（22連装）や長距離砲

が隠れ、ソウルが火の海になる公算

は高い。南北共に壊滅的打撃を受け

そうです。指揮中枢、通信系統を

叩くにも、要人の所在をリアルタイ

ムで掴む機会は乏しいし、通信手段

は当然複数。多様にしておるだろう

から、一撃に潰すのは困難でしょう。

戦争になり滅亡が迫れば北朝鮮は

「死なばもろとも」と、韓国、日

本の基地や大都市に向け核ミサイル

を発射する可能性が高い。もし日本

が米国との衝突覚悟でNPT（核不

拡散条約）から脱退し、核武装を

しても抑止は効かない。「抑止戦略」

は、相手の理性的判断を前提として

いて、自暴自棄の相手には通じません。

「自爆テロ犯は死刑に処す」と言つ

ても効果がないと同じです。ミサ

イル防衛も、核弾頭、火薬弾頭のも

のを混ぜて多数のミサイルをほぼ同

時に発射されると突破されます。

仮に日本に戦火が及ばなくて、も

風向きにより放射性降下物が降つて

来るし、放射性物質が残留し、経

済も壊滅状態になつた韓国から大量

のミサイルが飛来する。ソウル

から約40 kmの停戦ライン北側の巨大

な地下陣地には、300門以上の車

載ロケット砲（22連装）や長距離砲

が隠れ、ソウルが火の海になる公算

は高い。南北共に壊滅的打撃を受け

そうです。指揮中枢、通信系統を

叩くにも、要人の所在をリアルタイ

ムで掴む機会は乏しいし、通信手段

は当然複数。多様にしておるだろう

から、一撃に潰すのは困難でしょう。

戦争になり滅亡が迫れば北朝鮮は



小泉元首相は平壤宣言で成功したのだが（首相官邸）

というだけでこのまま問題を先送りにすれば、北朝鮮の中距離ミサイルの性能は今後も高まり、核弾頭の数も増える。相手は何かの理由で破綻に面し、自暴自棄になりかねない国だから、日本人は怯えて暮らすことになりますね。

田岡・米国と中国は北朝鮮に「政権の存続は保証するから核は廃棄しろ」と言っているが、北朝鮮は同盟国だったソ連が1990年、中国が1992年に韓国を承認して国交を樹立、ほぼ裏切られた経験がある。米国とも1994年に「核開発をやめる代わりにKEDO（朝鮮エネルギー開発機構）を設立、軽水炉の原発（高純度ブルトニウムが出にくい）2基を造ることで合意したが実行された。

これを言えば、日本が米国に北朝鮮攻撃を勧めることはありえないでしょう。韓国政府と韓国軍も南北共倒れになりそうな戦争を「一緒に始めましょう」と米軍に言うとは思えません。

国家存亡に関わる核よりも拉致を重視した結果がこれだ

Q：今、朝鮮半島で戦争が起るよりは、起きない方がよいのは確かだが、もし「ICBMは造らない」

開発阻止に成功していたのです。2002年9月17日に小泉純一郎首相と金正日委員長が調印した日朝平壤宣言の眼目は「双方は朝鮮半島の核問題の包括的な解決のため、関連す

るすべての国際的合意を遵守することを確認した……朝鮮民主主義人民共和国はこの精神に従い、ミサイル発射のモラトリアム（延期）を2003年以降もさらに延長する意向を表明した」との条項でした。

核問題に関する「すべての国際的合意」とは、5カ国以外に核爆発装置の製造・取得を禁じるNPTおよびIAEA（国際原子力機関）の査察などを定めた「保護措置協定」であるのは疑いがない。北朝鮮はソ連から原子炉を輸入するために1974年にIAEAの査察を受け入れ、1985年にNPTに加盟しました。1

993年3月に「NPT脱退」を通告したが、3カ月の予告期限が切れる寸前の6月に米朝高官会議で脱退は留保したから、平壤宣言は、北朝鮮は核兵器開発を止め、査察も受け入れ。その代りに日本は北朝鮮との国交を樹立し、無償の経済協力と低利融資を行なうことを定めていました。

北朝鮮はロシアに見捨てられ、中国からも最小限の援助しかもらず窮乏の極みだったから、日本からの経済援助は喉から手が出るほど欲しい状況だったし、核開発もまだ初期段

階だったから、止めさせるのは今日より容易でした。当時、北朝鮮の核開発は多くの国が懸念していたが、日本がほぼ独力でその阻止に成功したことには世界が驚嘆した。新聞は「信じ難い程の北朝鮮の譲歩」を日本が得た、などと称賛した。宣言の5日後、デンマーク・コペンハーゲンでの「アジア欧州会合（ASEM）」の首脳会合に出た小泉首相は拍手を浴びて登場、英雄扱いされ、「日朝首脳会談会談を高く評価する」とのASEM政治宣言まで出された。

翌年6月のエビアン（フランス）でのG8首脳会談でも、列国首脳が小泉氏に祝いを述べて話を聞きたがり、「北朝鮮問題の進展で小泉首相に感謝する」との発言が相次ぎました。

当時、私は「北朝鮮はロシア、中國から兵器を輸入できず、通常戦力は衰弱しているから、密かに核開発を続けるのでは。韓国も1972年から密かに核開発を始めたが、米国に察知され1976年に取り止めた例もある」と考えました。だが、IAEAの査察を受けつつ、こうそり核開発を続けても小規模な研究になり、核実験まではやれなかつたでしょう。

日本は北朝鮮を援助漬けにし、も

し核兵器開発の動きがあれば援助を停止することで手綱を握り、平壤に大使館を開いて防衛駐在官や警察庁からの出向者、原子力技術者などを送り込み、相手国の官吏に援助の「おこぼれ」の利得を与えるなどで情報源を確保することも可能だたでしよう。

拉致被害者の情報を入手し、帰還

を求めるためにも大使館を置き援助漬けにする方が、経済制裁より有効、と私は言つていきました。

だが、日本ではこの時初めて拉致問題を知った大衆の憤慨、被害者への同情が激しく、国交樹立、経済協力どころではなくなり、核開発の停



結束を強め「北」に圧力を加える米韓両軍（韓国国防省）

止をさせることもできなくなつた。
当時、米国の大使館員や情報機関
とうながりがある研究員などが私
を訪れ「拉致問題で騒ぐ人々の意図
は何か」と異口同音に聞く。「怒り
と同情の感情だけで、特別の意図な
どない」と言つても納得しない。話を
するうち相手の仮説が読めました。

米国では「日本の右派は核武装を狙
い、北朝鮮が核を持てばそれを口実
にNPT10条に『異常な事態が自國
の至高の利益を危うくしている場合
には脱退する権利を有する』とある
のを使ってNPTを脱退しようとして
いるのでは。北朝鮮が核開発を止め
れば、その目論見は崩れるから、平
壌宣言を反故にするため拉致問題を
騒いでいるのではないか」との猜疑心
米国人から見れば、日本人は独力で
北朝鮮の核武装を阻止する大きな
成果を挙げたのに、それを無にする
行動を取りつづつあつたから「何か裏
がある」と疑つたのも無理はない。
日本人が呆れるようなこの深読みも
結果的には半ば当たつていて、確かに
平壤宣言は履行できなくなり、北朝
鮮は核武装しました。

「核問題は数十万人の命、国家の

存亡に関する話。拉致問題とは比較にならない」と私に語る自民党の議員もいたが「選舉民は拉致にしか関心がないので」と、ブルーのバッジをつけていた。テレビ局で打ち合わせの際にも局の幹部に「私も事の軽重は分かっているが、今日はそれを仰言らないで頂きたい」と懇願される有り様で、平壤宣言が北朝鮮の核開発停止を定めた協定であることは大衆に伝わりませんでした。

今日も外務省は「平壤宣言は破棄されていない」との建前を語るが、すでに核弾頭も弾道ミサイルもできているのだから、まるで婚約した女性が他の男と同棲し、出産までしているのに、「婚約は有効」と言うに似た滑稽な論です。今からでも国交樹立と経済協力はできないわけではな
いが、肝心の核兵器廃棄の実現はまず不可能、全くもつたないことを

したものです。

今さら言つても仕方ないようだが、将来似た事態が起きた際の教訓にはなる。例えば海外で日本人が戦乱に巻き込まれたり、不恰に拘束されれば、留守家族や同僚、派遣した企業などが「自衛隊を救出に出動させよ」と求め、メディアが同調、政府

も押されて現地政府の承諾を得られない混亂の中、空挺部隊を乗せた輸送機を強行着陸させ、邦人救出を試みるような事態は起こりかねません。一度成功すれば後が恐い。前回と違い距離が遠過ぎたり、言語が通じず情報が不足、敵性勢力が強力、など、救出作戦が危険な状況であつても、「前に自衛隊が出たのに今度は出ないのはけしからん」とか「危険だからこそ救出してくれと言つているのだ」と感情が高ぶり、無理を承知で出した部隊が包囲され、さらに大部隊を投入、不利な地点で長期の戦闘を強いられることもあります。

邦人救出は、やれる場合とやれない場合がある。戦術的にやれない場合の方が多いでしょう。米国務省は出國者に配布する文書で「武装兵に護衛され、ヘリで脱出、は現実よりハリウッドの話です」と注意しています。国際関係は冷徹な利害の打算の場であるが、内政上は国民感情も軽視はできない。だが国民感情に乗るだけでは政治家も官僚、メディアも責任を果たせないことを、平壤宣言から15年たつても拉致問題は解決せず、日本が核ミサイルの脅威に晒されるに至つた現状が示しています。